

にじいろプロジェクト4

令和6年8月号
日出みみよう保育園

～子どももワクワク! 大人もワクワク!～

ある日のしろぐみさんの
水あそびの時のこと…

保育者が水あそびをもっと楽しめるようにと
倉庫からガチャガチャの空き容器を出し、用意
しようとしていました。それを見たKちゃん。
「わー!!なんか楽しいことが始まりそうで
ワクワクする!」とニコニコ。保育者に対する
期待感、信頼関係が育っている姿に嬉しく
なりました。



ごっこ遊びの経験から

製作あそびに夢中になる子が増えて
きました。「もっと落ち着いて遊べるよう
にするには?」「作ったものを飾れるように
したいね。」と保育者同士、また、子どもた
ちとも一緒に考え、環境を変化させていき
ます。そうすることで子どもたちの
集中力もUP↑しました。

とうもろこしの皮むきをした後
のひげや皮も大切な“素材”です。
「これをどのようにして子ども
たちが遊ぶかな?」と保育者もワ
クワククしながら環境を考えます。



最初のしろぐみさんの水あそびのエピソードにもあるように、保育者に対する期待感があるからこそ、子どもたちは、保育者が何か始めると“ワクワクする”気持ちになり、ワクワクから、ひらめきや発想へとあそびはどんどん広がっていきます。その期待感や信頼関係は、赤ちゃんの時から、培ってきた身近な大人との愛着関係が土台となります。そのような関係の元、保育者は日々子どもたちのあそびの様子やブームをキャッチし、保育者自身も「この素材を用意すると、さらにあそびが広がるかも?!」「子どもたちはどのような反応をするかな?」と、楽しみながら環境を工夫しています。日々の楽しい様子はデイリードキュメンテーションにも載せています。保育者は“こんな素敵なお子さんの姿を保護者の方にも見てほしい!”とワクワクしながら発信していますので、ぜひ目を通していただき、お子さんと話題を共有していただければと思います。今後もみんながワクワク楽しい保育園、そんな保育園であり続けられるよう、子どもも大人も主体となって保育を進めていければと思います。

幼稚園 主任